

# 関東天然瓦斯開発(株)決算説明会

(平成18年8月30日開催)

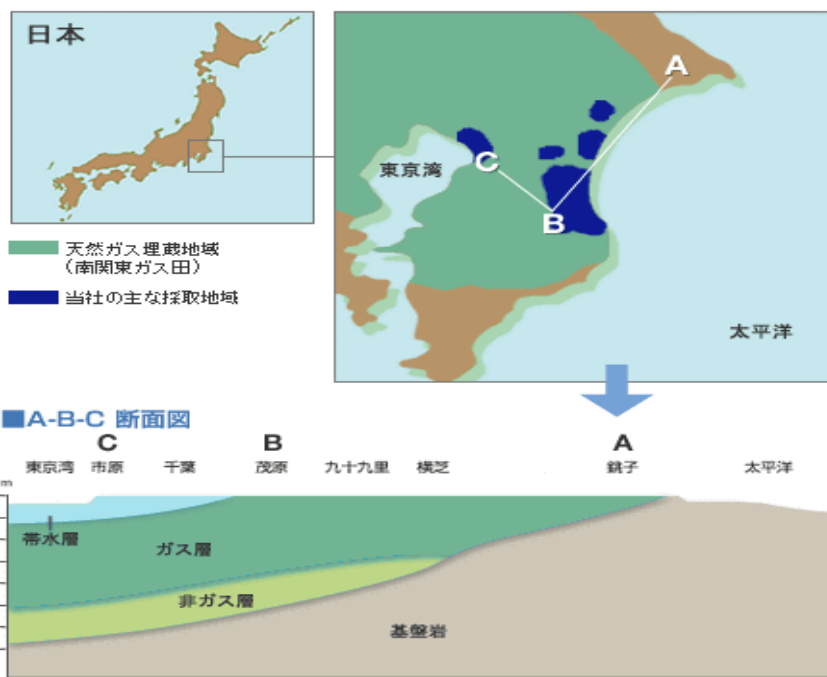
第145期中間  
平成18年1月～6月



<http://www.gasukai.co.jp/>



# 天然ガス ~ ガスが溶解した地下水ごと汲み上げて生産



## 当社の販売ガス

- ・自社生産(県産)
- ・同業者からの購入(県産)

## 当社の販売先

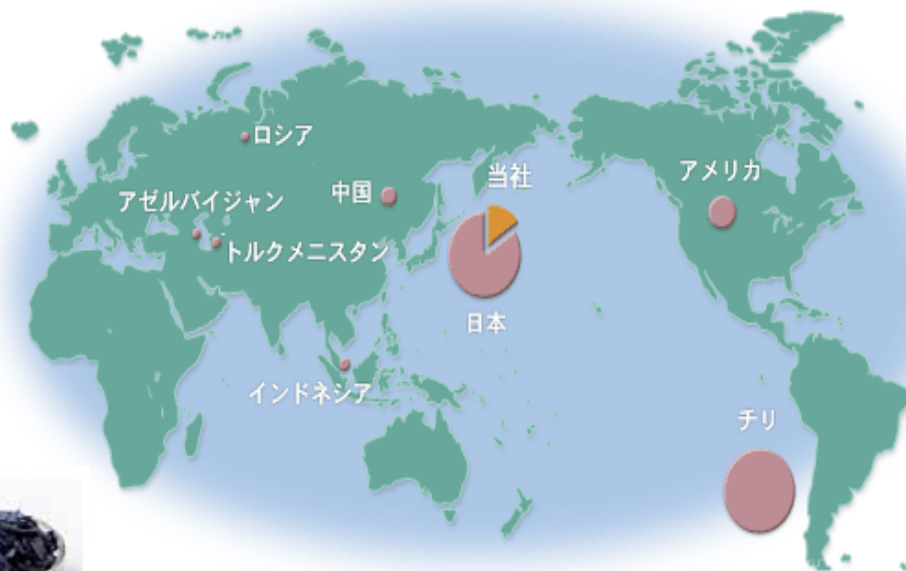
- ・都市ガス事業者向け(9割以上)  
京葉瓦斯(株)、大多喜ガス(株)、  
習志野市ほか
- ・その他

県産ガスの熱量は38.5MJ(12A)  
京葉瓦斯(株)・習志野市向けには  
ブタンを加え45MJ(13A)に増熱

当社鉱区内の可採埋蔵量は  
現在生産量の約600年相当



# ヨード(ヨウ素) ~ ガス採取後の地下水からの副産物



精製ヨード

日本は世界生産量の約3割  
そのうち千葉県は約8割

## 当社の販売ヨード

- ・ 自社生産(県産)
- ・ 同業者からの購入(県産)

## 当社の販売先

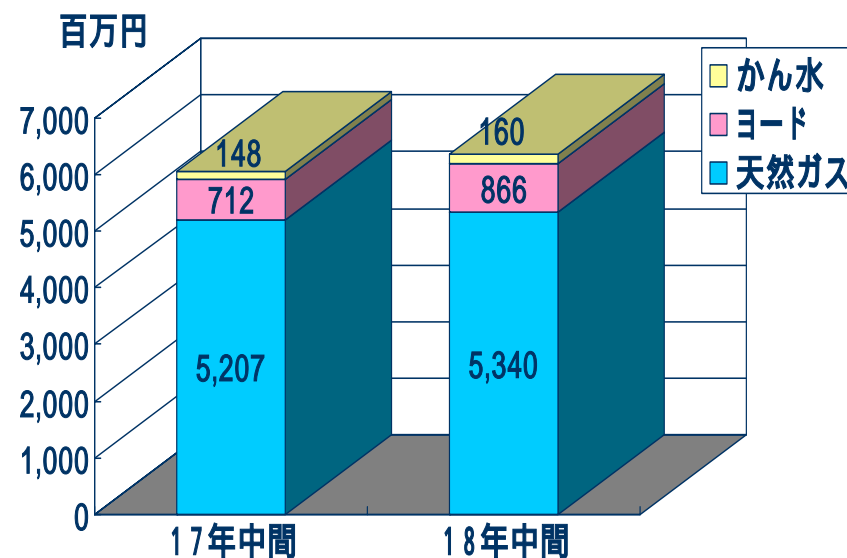
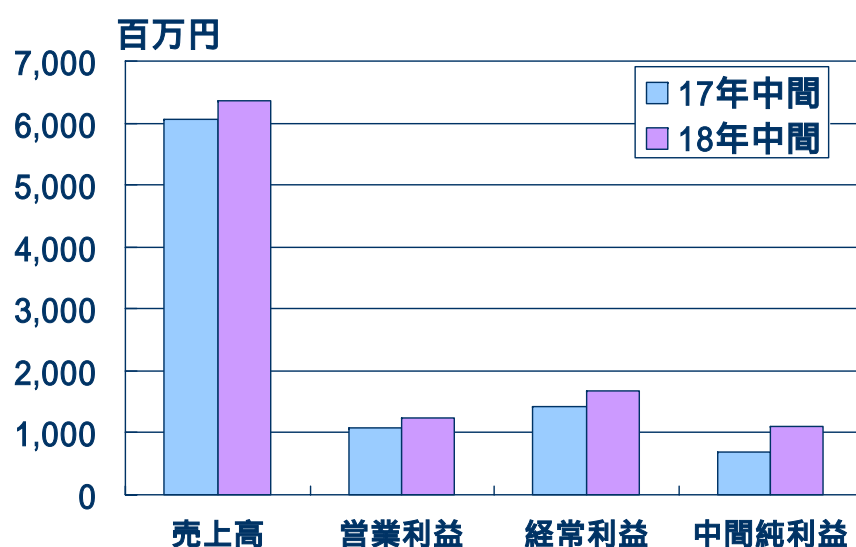
- ・ 海外向け: 約7割
- ・ 国内向け: 約3割

海外向けは商社を通じて欧米へ  
ヨードを含んだ地下水 = かん水は  
同業者等へ販売

ヨード製造において品質保証規格  
ISO9001を認証取得済



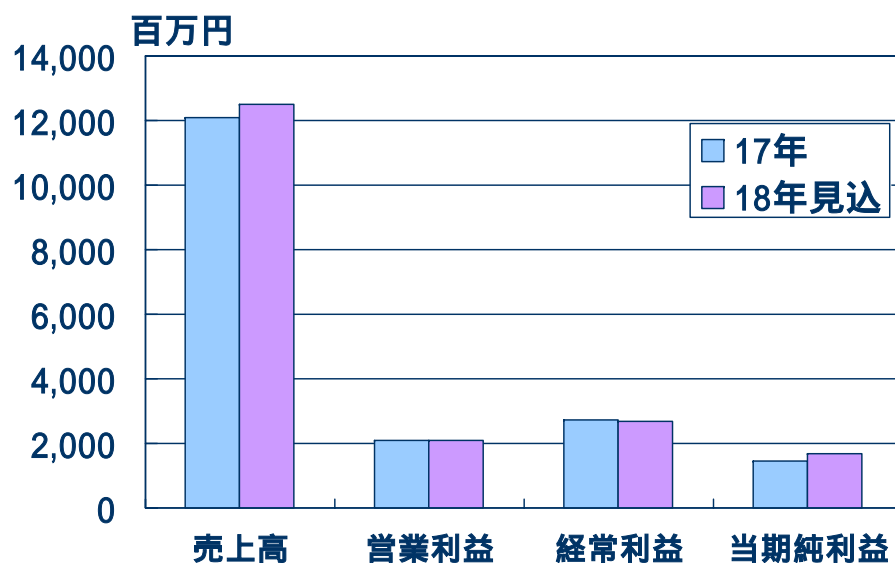
# 平成18年中間決算 < 単体 >



	売上高	(天然ガス)	(ヨード)	(かん水)	営業利益	経常利益	中間純利益
17年中間	6,068	5,207	712	148	1,069	1,422	689
18年中間	6,367	5,340	866	160	1,247	1,678	1,104
対前年比(%)	4.9	2.5	21.7	8.0	16.6	18.0	60.0
年初見込	6,250	5,250	850	150	1,100	1,400	900



# 平成18年収支見込概要 < 単体 >



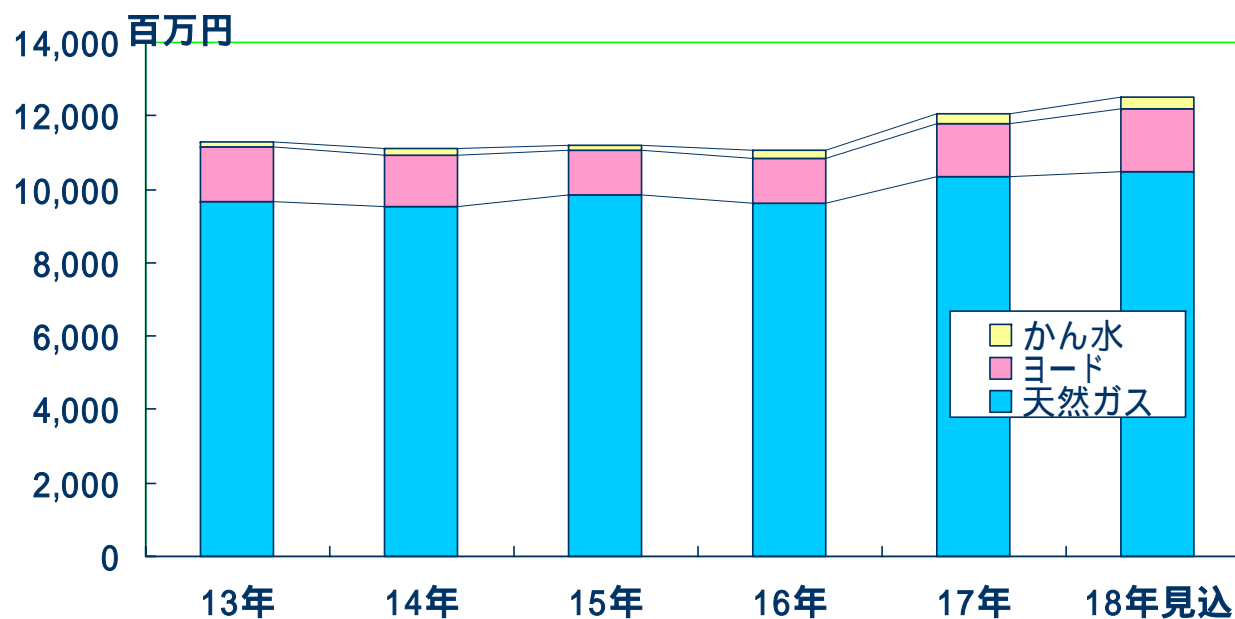
年初見込からの変動  
売上高:3億円増加  
・ガス:販売量増加(需要堅調)  
販売価格上昇(ブタン価格up)  
・ヨード:販売価格上昇(需要旺盛)  
販売量増加

為替の見通し  
・年初見込:115円/\$  
上期実績:114円/\$  
下期見込:115円/\$

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
17年	12,078	2,070	2,737	1,461
18年見込	12,500	2,100	2,700	1,700
対前年比(%)	3.5	1.4	1.4	16.3
年初見込	12,200	2,100	2,700	1,700



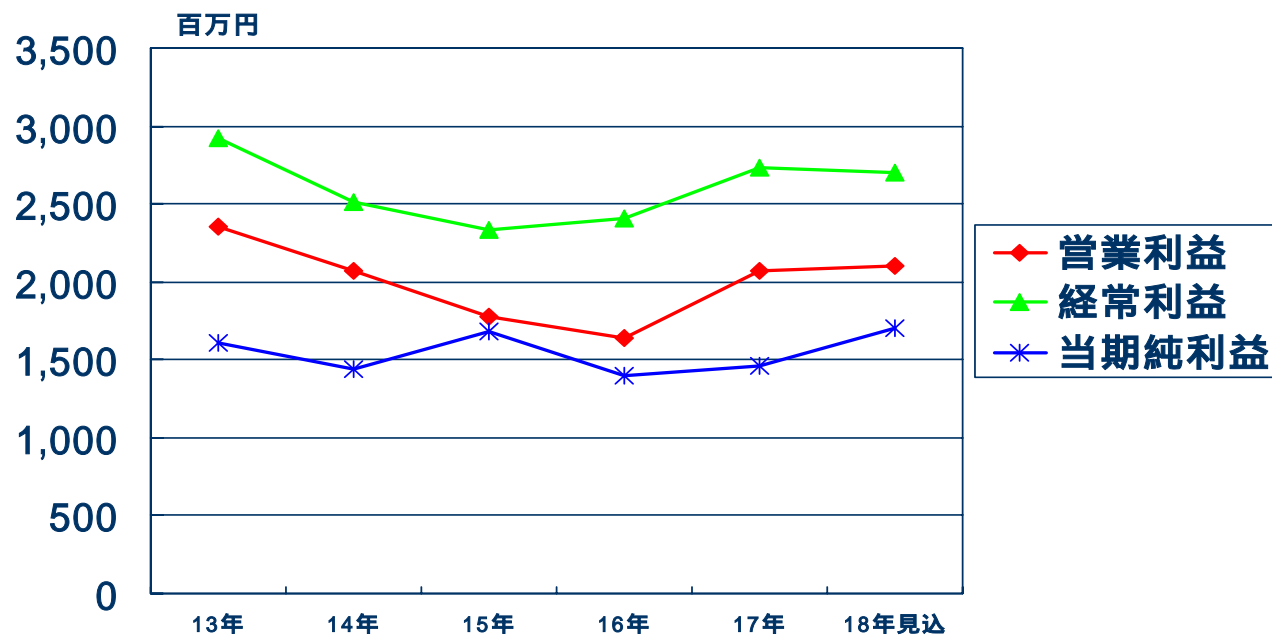
# 売上高の推移 < 単体 >



区 分	第140期	第141期	第142期	第143期	第144期	第145期
	13年	14年	15年	16年	17年	18年見込
売上高	11,297	11,099	11,221	11,055	12,078	12,500
天然ガス	9,679	9,514	9,854	9,629	10,323	10,500
ヨード	1,456	1,427	1,215	1,223	1,452	1,700
かん水	160	157	152	202	302	300



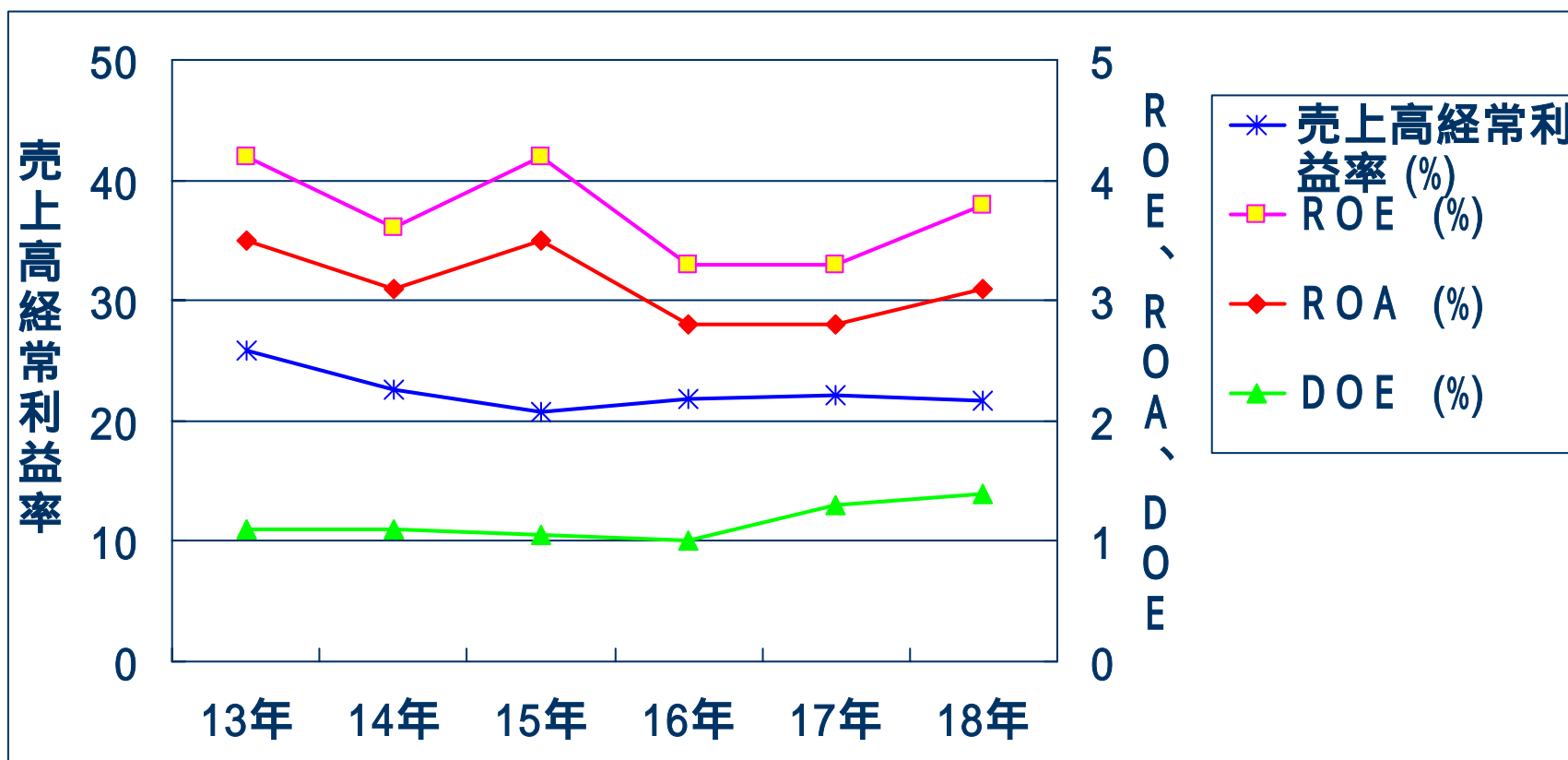
# 利益の推移 < 単体 >



区 分	第140期	第141期	第142期	第143期	第144期	第145期
	13年	14年	15年	16年	17年	18年見込
営業利益	2,350	2,069	1,773	1,643	2,070	2,100
経常利益	2,927	2,508	2,330	2,411	2,737	2,700
当期純利益	1,607	1,438	1,679	1,397	1,461	1,700

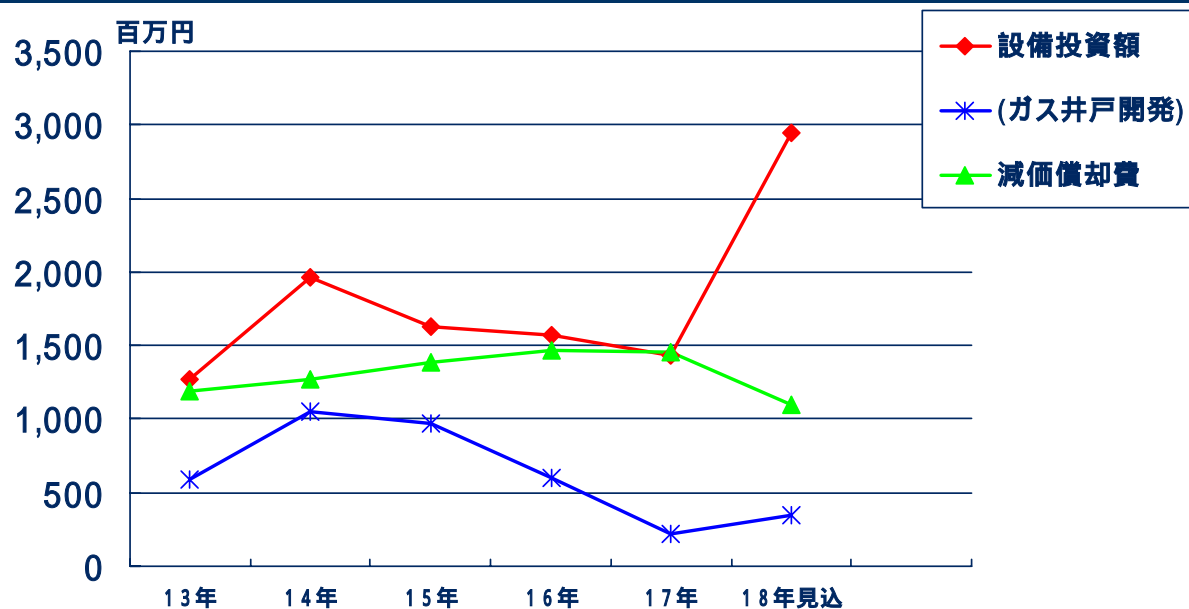


# ROE、ROA < 単体 >





# 設備投資・減価償却費の推移 < 単体 >



**主な設備投資(18年)**  
**ガス井戸掘削計画**  
 ・生産井: 2坑(上期完成)  
           1坑(上期着手)  
 ・還元井: 1坑(下期着手)

**BOGライン敷設**  
 (本年11月完成予定)

区 分	第140期	第141期	第142期	第143期	第144期	第145期
	13年	14年	15年	16年	17年	18年見込
設備投資額	1,273	1,969	1,632	1,569	1,436	2,950
(ガス井戸開発)	590	1,052	974	597	223	350
減価償却費	1,189	1,267	1,382	1,471	1,455	1,100

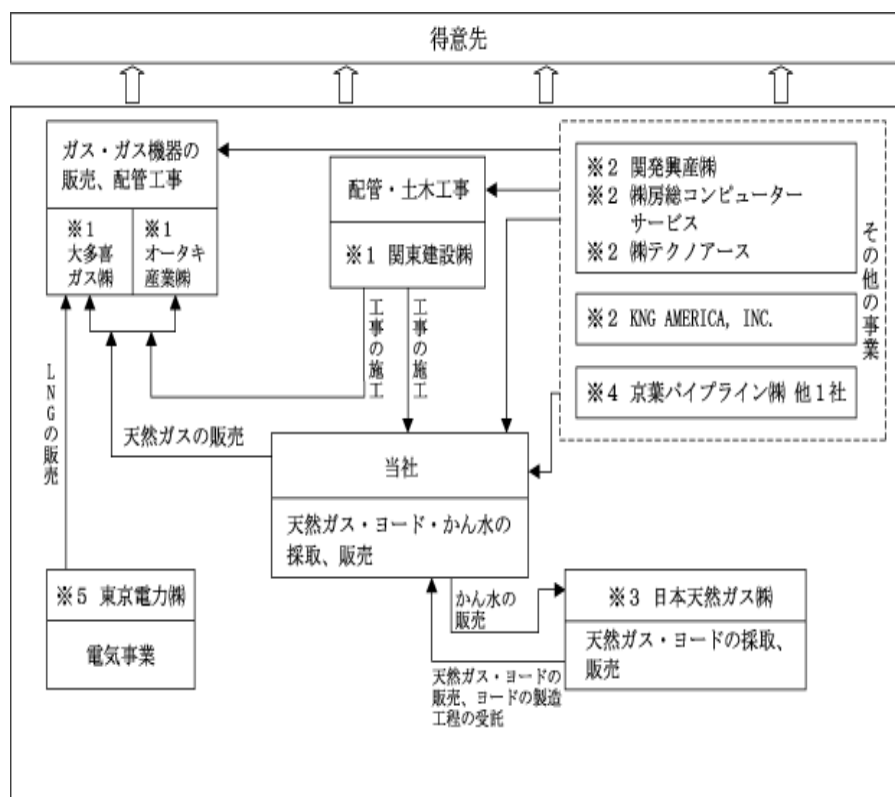


# 生産量・販売量の推移

区 分		第141期	第142期	第143期	第144期	第145期	
		14年	15年	16年	17年	18年中間	18年見込
天然ガス	生産量(千m <sup>3</sup> )	169,634	172,624	172,244	181,542	94,142	185,000
	販売量(千m <sup>3</sup> )	276,001	280,437	277,860	291,593	147,814	293,000
ヨード	生産量(t)	757	743	630	403	204	400
	販売量(t)	1,008	934	896	947	497	980
かん水	生産量(千kl)	15,450	15,241	15,654	16,218	8,398	15,800
	販売量(千kl)	6,437	6,246	8,059	10,995	5,557	10,900

天然ガスは38.5MJ/m<sup>3</sup>換算

# 関東天然瓦斯開発(株)グループ



(注) ※1 連結子会社  
 ※2 非連結子会社  
 ※3 持分法適用関連会社  
 ※4 関連会社  
 ※5 その他の関係会社

## 〔連結子会社〕

- ・大多喜ガス(株)・・・都市ガス事業
- ・オータキ産業(株)・・・圧縮天然ガス・LPG販売
- ・関東建設(株)・・・土木・管工事等の建設業

## 〔非連結子会社〕

- ・関発興産(株)・・・不動産・リース業
- ・(株)房総コンピュータサービス・・・コンピュータサービス業
- ・(株)テクノアース・・・さく井工事、地質・地下水汚染調査
- ・KNG AMERICA, INC.・・・米国の石油・ガス事業

## 〔持分法適用関連会社〕

- ・日本天然ガス(株)・・・天然ガス・ヨードの生産・販売

## 〔関連会社〕

- ・京葉パイプライン(株)・・・ガスの託送事業
- ・(株)新栄エンジニア・・・工事設計等

## 〔その他の関係会社(筆頭株主:21.4%)〕

- ・東京電力(株)



# ガス事業 ~ 当社、大多喜ガス(株)、オータキ産業(株)



## 大多喜ガス(株)の販売ガス

- ・当社からの購入(県産)
- ・他社からの購入(輸入LNG・オフガス・県産)

## 大多喜ガス(株)の販売先

- ・家庭用等は堅調
- ・大口需要は増加



オフガス = 石油化学工場等で石油精製・ナフサ分解の際に副生するガス

県産ガス・オフガスは12A、輸入LNGは13A

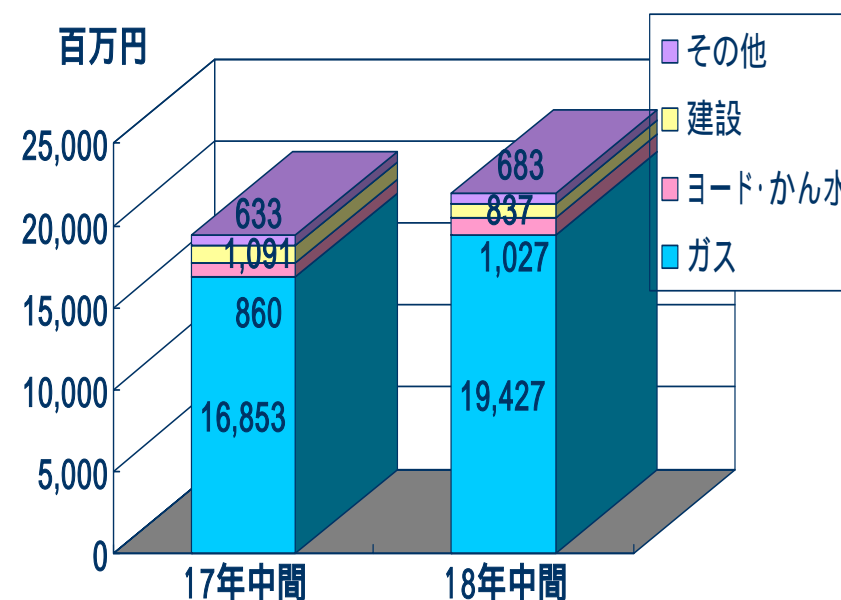
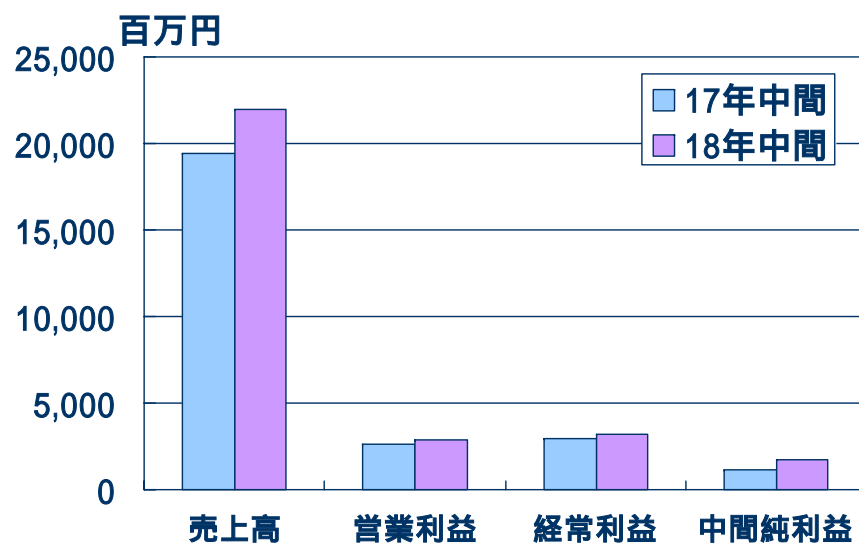


# ヨード・かん水、建設、その他の事業

- ・ **ヨード・かん水事業** ~ 当社  
(ヨードの製造・販売、かん水の販売)
- ・ **建設事業** ~ 大多喜ガス(株)、オータキ産業(株)、関東建設(株)  
(土木・配管工事)
- ・ **その他の事業** ~ 大多喜ガス(株)・オータキ産業(株)  
(ガス機器の販売)

連結対象外の子会社は除く

# 平成18年中間決算 < 連結 >



	売上高	(ガ ス)	(ヨード・かん水)	(建 設)	(その他)	営業利益	経常利益	中間純利益
17年中間	19,439	16,853	860	1,091	633	2,605	2,928	1,130
18年中間	21,975	19,427	1,027	837	683	2,833	3,229	1,683
対前年比(%)	13.0	15.3	19.3	23.3	7.8	8.8	10.3	48.8
年初見込	20,200	17,800	1,000	800	600	2,300	2,600	1,300

# セグメント別売上高(対前年中間期)

単位:百万円

	17年中間	18年中間	比較増減	17年
ガス	16,853	19,427	2,574	32,691
ヨード・かん水	860	1,027	166	1,755
建設	1,091	837	254	1,919
その他	633	683	49	1,267
合計	19,439	21,975	2,535	37,633

## 主な変動要因

### ガス事業 大幅増

- ・輸入エネルギー-価格高騰に伴う販売価格の一部上昇
- ・大口・家庭用等の販売量増加

### ヨード・かん水事業 大幅増

- ・旺盛なヨード需要による価格上昇
- ・為替が円安:上期実績114円/\$  
(前年同期105円/\$)

### 建設事業

- ・引き続き厳しい受注環境

### その他の事業

- ・大型物件・集合住宅向けのガス機器の販売増

# 中間損益計算書内訳 < 連結 >

単位:百万円

	17年中間	18年中間	増減額	17年
売上高	19,439	21,975	2,535	37,633
売上原価	13,160	15,456	2,296	26,806
売上総利益	6,279	6,519	239	10,827
販管費・一般管理費	3,674	3,685	11	7,449
営業利益	2,605	2,833	228	3,377
営業外収益	381	455	74	728
営業外費用	58	59	1	110
経常利益	2,928	3,229	300	3,995
特別利益	-	180	180	28
特別損失	407	95	312	528
税引前利益	2,520	3,314	793	3,495
法人税等	989	1,225	235	1,352
少数株主利益	399	405	6	326
中間純利益	1,130	1,683	552	1,816

## 主な変動要因

### 売上高

- ・輸入エネルギー-価格高騰に伴うガス販売価格の一部上昇
  - ・ガス販売量の増加
- 大幅増

### 営業利益

- ・輸入エネルギー-価格高騰に伴うガス仕入価格の一部上昇
- 売上の割に利益は伸びず

### 中間純利益

- ・固定資産に係る減損損失の減少等
- 増益

# 中間貸借対照表内訳 < 連結 >

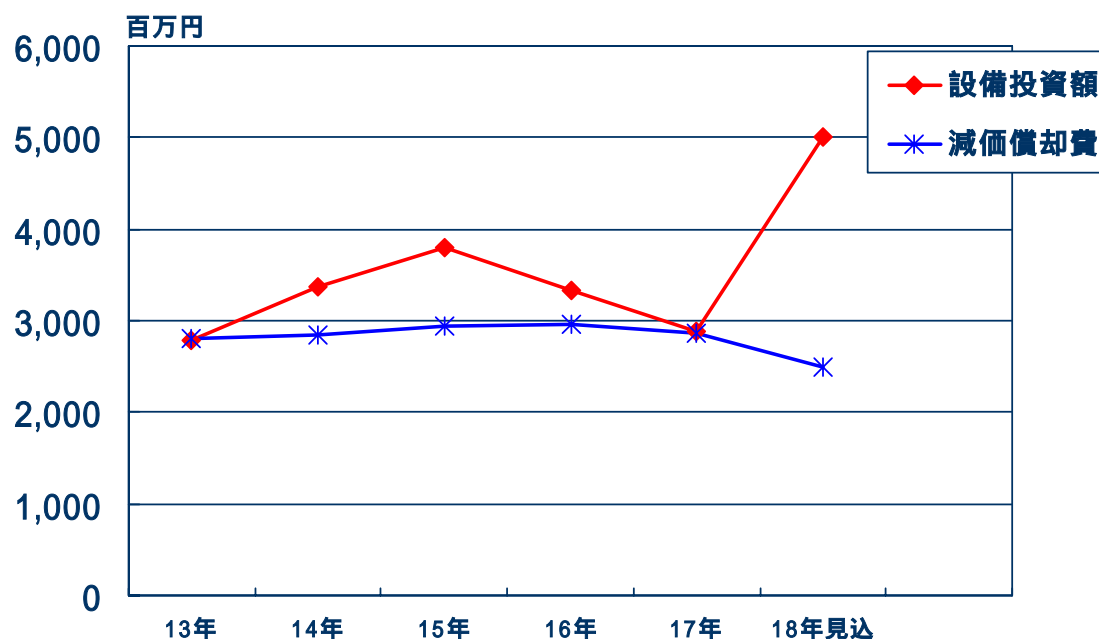
- ・固定資産：有形固定資産・BOGラインへの投資による増加  
投資その他の資産・主に債券の購入による増加

- ・利益剰余金：当期純利益の計上により増加

単位：百万円

	17年12月	18年6月	増減額		17年12月	18年6月	増減額
流動資産	24,430	23,945	484	流動負債	8,673	9,036	363
				固定負債	7,600	7,300	300
				負債合計	16,273	16,336	63
固定資産	52,046	53,770	1,723	株主資本	50,083	51,320	1,237
				資本金	7,902	7,902	0
				資本剰余金	8,260	8,261	0
				利益剰余金	34,176	35,420	1,243
有形固定資産	24,245	24,925	680	自己株式	256	264	7
無形固定資産	780	766	14	評価・換算差額等	3,595	3,169	425
投資その他の資産	27,020	28,078	1,057	少数株主持分	6,525	6,888	363
				純資産合計	60,203	61,378	1,174
資産の部合計	76,477	77,715	1,238	負債・純資産合計	76,477	77,715	1,238

# 設備投資・減価償却費の推移 < 連結 >



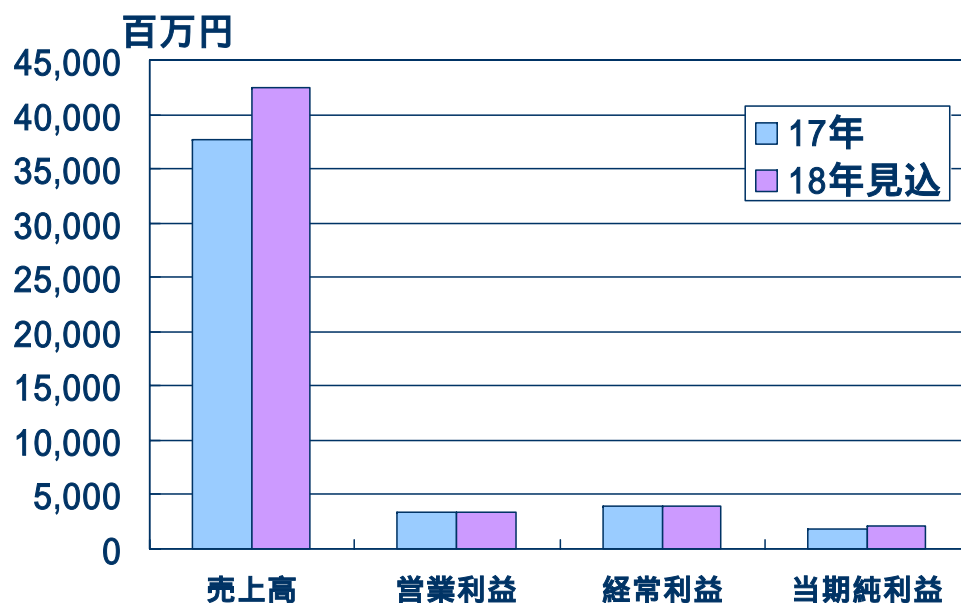
主な設備投資(18年)  
**ガス井戸掘削計画**  
 ・生産井:2坑(上期完成)  
           1坑(上期着手)  
 ・還元井:1坑(下期着手)

**BOGライン敷設**  
 (本年11月完成予定)

**大多喜ガス(株)配管工事**

区 分	第140期 13年	第141期 14年	第142期 15年	第143期 16年	第144期 17年	第145期 18年見込
設備投資額	2,782	3,368	3,800	3,335	2,875	5,000
減価償却費	2,796	2,850	2,941	2,959	2,870	2,500

# 平成18年収支見込概要 < 連結 >



年初見込からの変動  
**売上高 増加**  
 ・輸入エネルギー価格高騰に伴う  
 ガス販売価格の一部上昇

**利益 見込並**  
 ・ガス仕入価格も同様に一部上昇

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
17年	37,633	3,377	3,995	1,816
18年見込	42,400	3,400	4,000	2,100
対前年比(%)	12.7	0.7	0.1	15.6
年初見込	39,400	3,400	4,000	2,100

# セグメント別売上予想 (対前期)

	17年	18年見込	比較増減
ガス	32,691	37,200	4,508
ヨード・かん水	1,755	2,000	244
建設	1,919	1,900	19
その他	1,267	1,300	32
合計	37,633	42,400	4,766

## 主な変動要因

### ガス事業 大幅増

- ・輸入エネルギー価格高騰に伴う販売価格の一部上昇
- ・大口を中心とした販売量増加

### ヨード・かん水事業 大幅増

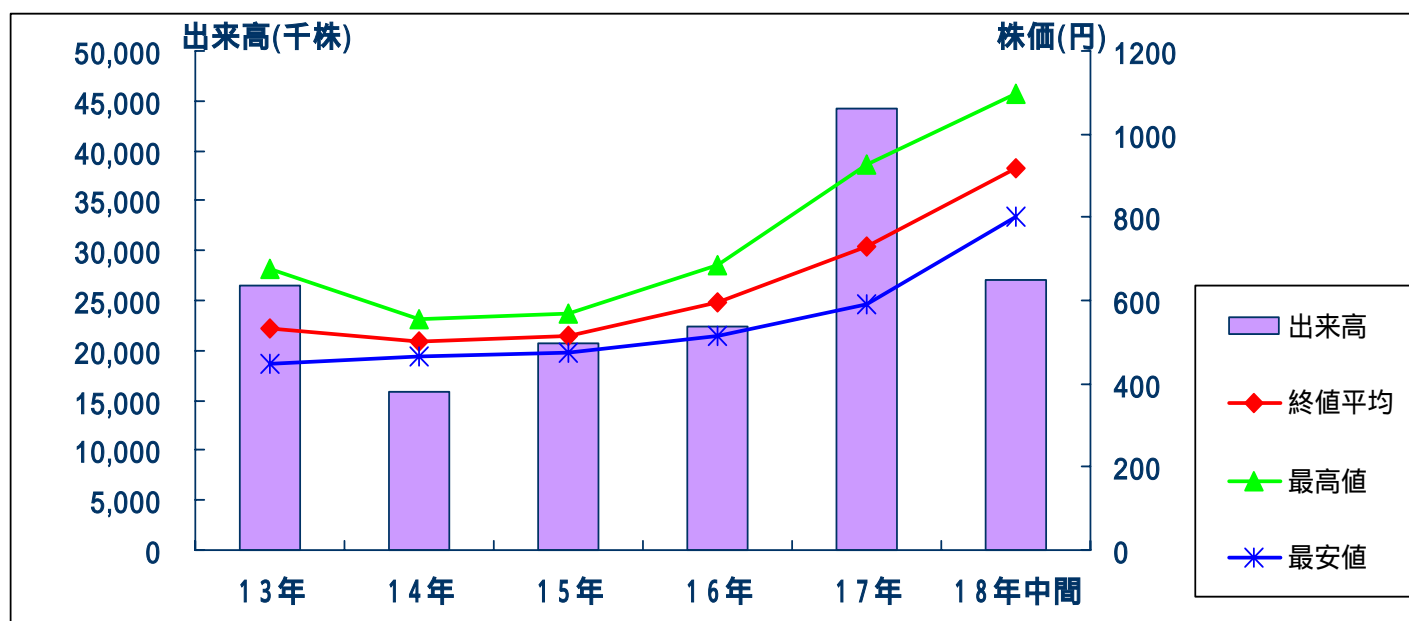
- ・旺盛なヨード需要による価格上昇

### 建設事業・その他の事業 前期並

- ・引き続き厳しい受注環境



# 株価および出来高の推移



	13年	14年	15年	16年	17年	18年中間
最高値	674	556	567	684	925	(4/11) 1,099
最安値	447	464	476	513	591	(1/18) 800
終値平均	535	502	513	594	732	918
出来高	26,478	15,861	20,698	22,301	44,276	26,989



# グループ経営理念・経営方針

## グループ経営理念

天然ガスの生産と販売を中核に、  
快適で豊かな生活の実現と社会の発展に貢献する

## グループ経営方針

- ・ コンプライアンスの遵守
- ・ 環境との調和、品質と安全の確保
- ・ お客様満足の追求
- ・ 企業価値の向上
- ・ チャレンジする職場風土の実現



## 各社の事業展開(方針)

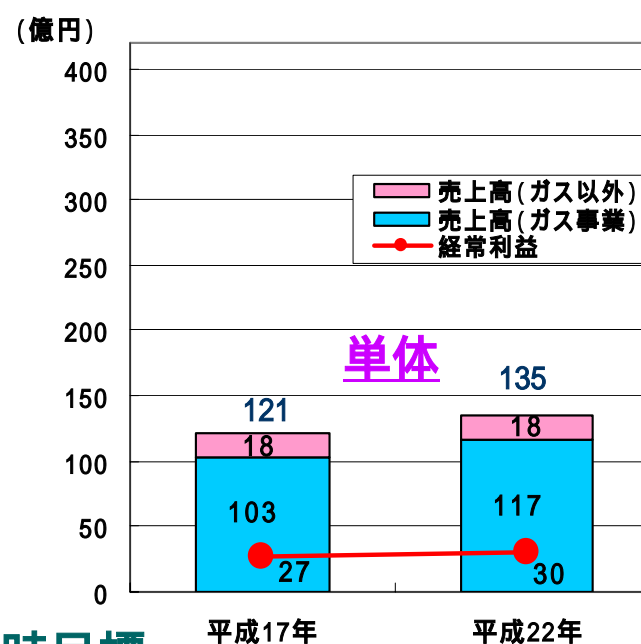
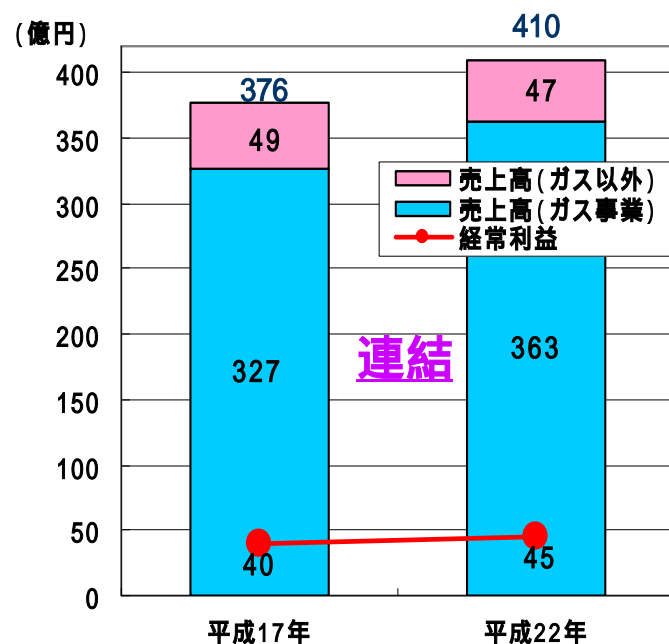
グループ経営方針のもと、各社が法令を遵守し、競争力ある事業展開をはかる。

関東天然瓦斯開発(株)	環境との調和をはかりつつ、競争力ある天然ガスとヨードの開発・生産・供給に全力で取り組むとともに、天然ガス・ヨードとも新たな事業領域へ進出する。
大多喜ガス(株)	エネルギー市場における競争激化に対応し、都市ガス事業者として安全・安定供給を基本としつつ、積極的な営業活動によりガス販売を拡大する。
関東建設(株)	グループの信頼される工事会社として、工事品質を向上させる。 また、新たな技術の構築を図り外部売上を拡大する。
オータキ産業(株)	LPGの特性を活かし、地理的・経済的条件から大多喜ガスでは対応が困難なお客様を対象に販売を拡大する。
(株)テクノアース	地質汚染調査・対策事業とさく井事業を柱として、外部営業の強化により売上を拡大する。
(株)房総コンピューターサービス	グループのシステムセンターとして、グループ各社の競争力の維持強化に資するシステムの提案、開発及び運用を行なう。
開発興産(株)	グループ内受託業務サービスの一層の充実化とともにリース事業の外部売上を拡大する。

# 各社の事業展開 (セグメント別)

(グループ各社) (セグメント)	関東天然 瓦斯開発㈱	大多喜ガス㈱	オータキ産業㈱	関東建設㈱	㈱テクノアース	㈱房総 コンピューター サービス	関東興産㈱
ガス部門	天然ガス	都市ガス	圧縮ガス LPG				
ヨード・かん水部門	ヨード   かん水						
建設・地質部門		ガス工事	ガス工事	土木建設	さく井 工事   地質 汚染		
サービス・器具販売部門		器具販売	器具販売			システムオペレ ーション・開発	リース保険 代理他

# 中期経営計画 (平成18年 ~ 22年)



## 22年時目標

連結売上高 410億円 (H17比 8.9%増)  
 連結経常利益 45億円 (H17比12.6%増)  
 連結設備投資 5年間で170億円  
 連結ガス販売量 8.9億<sup>3</sup>

単体売上高 135億円 (H17比11.8%増)  
 単体経常利益 30億円 (H17比 9.6%増)  
 単体設備投資 5年間で86億円  
 単体ガス販売量 3.3億<sup>3</sup>



# トピックス

## BOG (ボイルオフガス) 導入

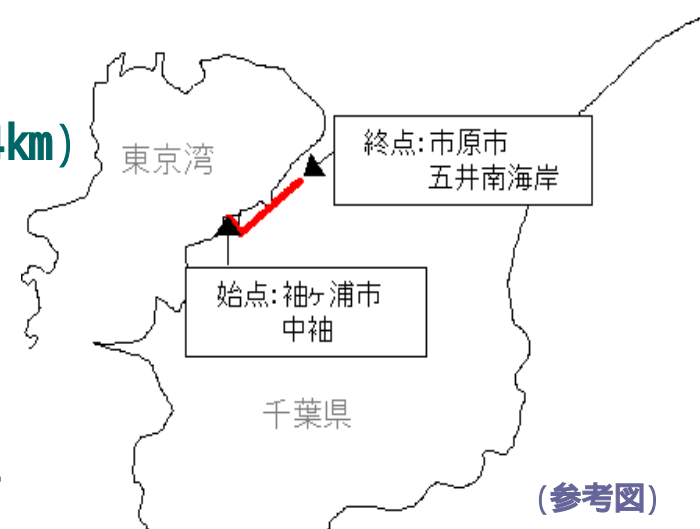
- ・購入先 : 東京電力(株)、東京ガス(株)
- ・受入量 : 最大日量48万m<sup>3</sup>
- ・時期 : 平成18年11月～
- ・設備投資 : 受入パイプライン(口径400mm、延長約14km)
- ・建設費 : 約27億円(自己資金で充当)

### 〔特長〕

- ・県産天然ガスとほぼ同様の性状(=12A)
- ・需要の変動に応じて供給を受けられる利点
- ・48万m<sup>3</sup> / 日 1.8億m<sup>3</sup> / 年 当社の年間生産量

### 〔効果〕

- ・将来の都市ガス需要の増加に対し、更なる安定供給を実現
- ・新規大口需要にも、これまで以上に積極的な対応が可能に





# 配当政策

## 【基本方針】

長期的な安定配当と内部留保の充実

- ・景気変動に左右されにくい収益構造
- ・資源の安定供給のための内部留保の重要性

## 【18年配当】

普通配当を年7円/株から年10円/株に増額を予定

- ・中期経営計画策定の結果、年10円/株の配当が可能と判断
- ・8月18日の取締役会で5円/株の中間配当を決議

## 【17年配当】

従来の普通配当の年7円/株に加え、3円/株の創業75周年記念配当を実施

## 【1株当たり当期純利益 / 配当性向】

16年	22.58円	31.0%
17年	23.65円	42.3%
18年予想	28.09円	35.6%